

エスケープ 2042: 真実のディフェンダー

ストーリー :

ときは 2042 年。社会党が政権の座についているが、だれも知らない間に政府はすこしずつ独裁化をつよめていく。民主主義の仮面をかぶった政府中枢のエリートは、人びとの現実の暮らしからとおざかり、じぶんの利益を追うことしかかんがえていない。

反体制派は陰謀をたくらむテロリストとして警戒嚴重な刑務所にとじこめられ、政府に味方するマスコミにあやつられた人びとに真実を告げることができずにいる。

主人公は、システムエンジニアのシュン。真実の擁護をめざす連合グループのメンバーだ。

国民に真実を告げるための秘密作戦の実行後、シュンは嚴重に警備された刑務所「Bulor 24」にとじこめられてしまった。

だがセキュリティ システムに関する知識をつかい、刑務所から脱走することが可能だ。

できるだけ早く刑務所から逃げだすんだ！

ゲーム概要:

ゲームの舞台は刑務所、砂漠、そして森の 3 つ。

途中には 2 つのミニゲーム、「Shoot 'em Up」とオリジナルのラペリング ゲームが入っている。

監視カメラを避けて、手りゅう弾をあつめて敵をおいはらい、ワーキングメモリで刑務所のパソコンをハッキングし、ドアをあけ、セイフティ システムを解除しよう。

モード設定:

ノーマル: 初心者モード。監視カメラを混乱させる手りゅう弾と、敵をたおす手りゅう弾をつかうことができる。

ハード: よりむずかしいモード。手りゅう弾はなく、ミニゲームのシークエンスは 2 倍の長さ。

パスワード:

ゲームの途中、ドアをあけるためのパスカードを手に入れると、スクリーン上に文字や矢印を組合せたパスワードが表示される。

パスワードを控えておき、ゲームを再開するときにメニューの「パスワード」画面に入力しよう。

ゲームパッド コントロール:

- 矢印キー 右 / 左: 移動
- B ボタン: ジャンプ / 画面を変える
- A ボタン: インベントリー メニュー、オブジェクトを選択 (手りゅう弾、パスカード)
- C ボタン: 手りゅう弾をなげる

メニューのテキスト表示をスキップするにはスタートボタンをおすこと

クレジット:

ゲーム製作、プログラミング、レベルデザイン、グラフィック編集
by Cedric Bourse aka Orion

<http://orionsoft.free.fr>

リソース グラフィック: opengameart.org

インゲーム グラフィック: Carl Olsson 「surt」

主人公のスプライト制作: Eris

タイトル スクリーン、宇宙と砂漠の背景: Luis Zuno 「Ansimuz」

ラペリング グラフィック: MrBeast

森の敵: chipmunk

第二のタイトルスクリーン グラフィック: Ansimuz、Exocet、MC

日本語訳: ヤマダアキコ

音楽プレーヤー: Stephane Dallongeville

音楽:

Doomed : Alexander Ehlers

Generic Trailer Music : Emmama

Party Sector : Joth

ambient_menu & menu sci-fi 1 : Alexander Zhelanov

Retro Game Music Pack & SFX : Juhani Junkala

melede deux : Perry Butler

Caryl、The Desert of Dreams : TheMysticBard

Forest Ambience : TinyWorlds

ベータテスト:

A-M

Yannick B.

Rayxamber